久世小学校 P T A

令和 6 年度 (2024 年度)

臨時総会議案書

1 日程

令和 6 年 11 月 12 日(火)期日 書面決議にて

2 議事

第 1 号議案 久世小学校 PTA 本部役員及び
委員選出規程 (案)

- ① 第 6 章 第 13 条 1
- ② 第 6 章 第 13 条 6
- ③ 第 6 章 第 13 条 7

※別紙「令和 6 年度 久世小学校 PTA 臨時総会 書面決議書」を期日までにご提出ください。提出期限は令和 6 年 11 月 12 日(火)とさせていただきます。議案の可否は、賛成が会員数の 3 分の 2 以上の場合に可決とさせていただきます。尚、期日までにご提出がない場合は、全議案に賛成として取り扱いさせていただきますので、予めご了承ください。

(第1号議案)

久世小学校PTA本部役員及び委員選出規程(案)

第1章 総則

- 第1条 規約第7条第1項に基づき、本部役員及び委員の選出は、規約に定められた以外は、この規程によって行う。
- 第2条 この規程による選挙権は、1家庭1票とする。
被選挙権は、1児童につき1回とする。

第2章 選挙管理委員会

第3条

- 1 次年度本部役員の選挙を行うため、本部役員の選管担当者を委員長とし本部内に設置する。
- 2 選挙管理委員の任期は、選出された日から当該年度の3月末日までとし、委員長・委員は本部役員で担う。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

- 1 選挙の告示(届出の締切日・投票期間・開票日・選挙結果等の公表)
- 2 候補者の届出の受け付けと確認
- 3 候補者名簿・抱負文又は推薦文・投票用紙等の作成と配布、及び開票の実施
- 4 その他、選挙の実施に必要な業務

第3章 本部役員の選出

- 第5条 本部役員は、原則新4・5年生より3名ずつ、新6年生より4名となるよう役員候補者を選出し選挙管理委員会へ届け出る。そして、全ての委員の選出に優先して行う。
新2年生新3年生から立候補者が出た場合、上記の役員候補選出配分は選挙管理委員会で協議し調整することができる。
また、その他やむを得ない事情が生じた場合、選挙管理委員会で協議し調整することが出来る。

第6条 選出の告示は、11～12月とし、立候補の受付業務を11～12月中に完了する。

第7条

- 1 立候補者は、11～12月の定められた期日までに、立候補の抱負文を添えて選挙管理委員会に届け出る。学年より規程に定める数以上の立候補者が出た場合は、選挙により選出する。
- 2 立候補者がいない場合は、抽選器による抽選とし、新4～6年生の児童1人につき1回抽選する。
- 3 立候補者は新2年生～新6年生の保護者を対象とする。

第8条 本部役員の役職は、互選によるものとする。

第4章 クラス専門委員・地域安全委員の選出

第9条

- 1 クラス専門委員の選出区は、児童の属する各学級とする。
- 2 クラス専門委員の選出は、一斉選挙にて行う。
- 3 クラス専門委員2名は、第1回専門委員会にて役割分担を決定し、選出結果を速やかに本部役員に届け出る。
- 4 同一会員が複数の学級で委員として選出されたときは、上級学級を有効とする。

第10条

- 1 地域委員1名、校区安全委員1名の選出区・選出数は次表のとおりとする。

選出区	地域安全委員	
	地域委員	校区安全委員
城陽団地・緑ヶ丘	1	1
平川東部第二・平川1	1	1
平川東部第二・平川2	1	1
大亀茶屋	1	1
久世東	1	1
芝ヶ原	1	1
正道	1	1
芝ヶ丘	1	1
ハイランド南	1	1
つつじヶ丘	1	1
上大谷友が丘	1	1
大谷・下大谷	1	1

- 2 地域安全委員の選出は、地域ごとに選出会議を開き、出席者全員が合意できる方法によって行う。(選出の際、補欠1~5も同時に選出することとする。)
- 3 選出された地域安全委員は、選出結果を速やかに本部役員に届け出る。

第5章 辞退権

第11条

- 1 辞退権は原則として、任期を全うした役員等に対し、本部役員会が付与する。
- 2 辞退権の行使は、辞退権を付与された会員が、本部役員の選出及びクラス専門委員、地域安全委員選出会議の都度、当該選出会議の被選出権の停止を申し出ることにより効力を発する。
- 3 辞退権の効果は、作成した選挙名簿に、辞退権の行使を申し出た会員の欄に被選出権が無い旨の表示を行うことにより処理する。
- 4 辞退権の効力は、役員等の任期が終了した年度の翌年度から起算する。
- 5 自治会や子ども会など他団体の組織は学校PTAとは別団体である為、各種団体の支部長や会長経験者または任期中であっても、PTA本部役員選挙及びクラス専門委員選挙への辞退権はないものとする。

- 第12条 辞退権は、次の各号に掲げる役員等の役職に対し、当該各号に定める期間を付与する。
- 1 本部役員をした世帯は、その世帯のどの児童についても、本部役員を永久に辞退できる。
 - 2 本部役員をした世帯は、その世帯のどの児童についても、クラス専門委員(学級環境委員・広報保体委員)を辞退できる。
 - 3 会員のその世帯のどの児童についても、クラス専門委員(学級環境委員・広報保体委員)を務めた世帯は、任期の翌年1年間クラス専門委員を辞退できる。
 - 4 任期年度の4月1日時点において、未就学児がいる世帯は、本部役員を辞退することができる。

第6章 補則

第13条

- 1 本部役員に欠員が生じたときは、欠員の各学年補欠1から順に繰り上がる。(但し、2・3年生の立候補者がやむを得ない事情で本部役員の任期を全うできなくなった場合は、6年生の補欠1→5年生の補欠1→4年生の補欠1の順に繰り上がる。)
- 2 クラス専門委員・地域安全委員に欠員が生じたときは、補欠1から順に繰り上がる。
- 3 クラス専門委員に関しては、1児童1役を原則とする。但し、高学年になり、クラス専門委員経験者が多く、選出人数が足りない場合は2回目が当たる場合がある。
- 4 クラス専門委員の補欠は補欠1から補欠2までを選出する。(6年生のみ補欠1と2は謝恩会検討委員を兼任とする。)
- 5 あおぞら学級は本部役員・広報保体委員・地域委員・校区安全委員を辞退できる。
- 6 1～6年生で地域安全委員に選出されている場合は、その年のクラス専門委員を辞退できる。
- 7 ~~6年生で地域安全委員に選出されていてもクラス専門委員を優先する為、クラス専門委員選出選挙に参加し、選出された場合は担当地域の補欠1から繰り上がる。~~
- 8 東城陽中学校で本部役員を務める場合、その任期年度の久世小学校本部役員は辞退できる。(ただし、クラス専門委員については、辞退権はないものとする。)
- 9 地域安全委員を務めた翌年1年間はその世帯のどの児童においてもクラス専門委員を辞退できる。

第7章 規程改正

- 第14条 この規程を改正しようとするときは、総会出席会員の3分の2以上の賛成を必要とする。

附則

- 第1条 この規程は、昭和63年2月26日から施行する。

昭和63年 3月 5日 (一部改正)	平成30年12月13日 (一部改正)
平成 元年 4月 1日 (一部改正)	令和3年 5月19日 (一部改正)
平成 4年 4月 1日 (一部改正)	令和4年11月4日 (一部改正)
平成 9年 5月19日 (一部改正)	<u>令和6年11月12日(一部改正)</u>
平成10年 5月18日 (一部改正)	
平成13年 5月14日 (一部改正)	
平成16年 5月16日 (一部改正)	
平成17年 5月16日 (一部改正)	
平成21年 2月13日 (一部改正)	
平成23年 5月10日 (一部改正)	
平成26年 2月20日 (一部改正)	